

令和 3 年 3 月 25 日

(案)

村上市長 高 橋 邦 芳 様

村上市森づくり基本計画策定委員会  
委員長 村 上 拓 彦

## 村上市森づくり基本計画の策定について (答申)

令和 2 年 11 月 19 日付け村農第 907 号で、当委員会に諮問された村上市森づくり基本計画の策定について、当委員会で丁寧に審議を重ねた結果、下記のとおり結論を得たので附帯意見を添えて答申します。

## 記

## 1 答申事項

## (1) 目標林型の設定と森林区分 (ゾーニング)

村上市森林整備計画では、森林の公益的な機能や木材生産機能に基づいて、「水土保持林 (水源涵養機能)」、「水土保持林 (山地災害防止/土壌保全機能)」、「人と共生林」、「地域遺産林」、「木材生産林」の 5 つの区分での民有林のゾーニングが行われています。

本計画においては、「森づくりのゾーニング」の考え方を以下に整理しました。

本基本計画における森づくりのゾーニング区分の考え方

区分	機能	主な森林	主な取組
生産林	木材生産	林業経営に適している スギ人工林等	<ul style="list-style-type: none"> <li>条件が良く林業経営に適したスギ林における重点的な森林整備、集約的な施業</li> <li>優先的な路網整備 等</li> </ul>
		広葉樹人工林・天然林	<ul style="list-style-type: none"> <li>広葉樹資源の利活用</li> <li>良質な椎茸の原木や薪の生産、シナノキ林の育成等</li> </ul>
保全林	水源涵養 山地災害防止 生物多様性保全 保健文化機能等	スギ人工林等	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業経営に適さないスギ人工林等では、村上市によって森林の公益的機能の維持・増進を図るための森林整備を実施</li> </ul>
		天然林 (広葉樹林等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>広葉樹林の保全</li> <li>自然とのふれあい</li> <li>森林環境教育の場としての活用</li> </ul>

## (2) 人工林として経営すべき森林と天然林に誘導すべき森林との峻別

本市における人工林として経営すべき森林（林業経営に適した人工林）と天然林に誘導すべき森林（林業経営に適さない人工林）の区分については、新潟県で令和2年4月に公表された「令和元年度 森林整備と財源のあり方検討委員会 報告書」より、私有林人工林において地形等の条件が悪いために林業として採算性が確保できず、所有者による管理が困難な森林（条件不利人工林）の基準を参考として、既存の森林GISデータ（森林簿）に整理されている数値を考慮したうえで、林業経営に適した森林と林業経営に適さない人工林（条件不利人工林）を区分しました。

### 【条件不利人工林】

- ・ 傾斜 25 度以上
- ・ 林地生産力（5 m<sup>3</sup>/ha・年未満）
- ・ 基幹路線からの距離 300m以上

## (3) 森林保全及び林業振興施設等の検討

村上市森づくり基本計画において、森づくりの基本理念と目標像、取組の基本方針を以下のように定め、この目標を実現するために森林保全や林業振興施設等を含む各種取組を検討し、関係者・関係機関が連携して進めていく計画としました。

### ー 森づくりの基本理念 ー

「みんなで取り組む・村上の持続可能な森づくり」

### < 3つの目標像 >

目標 1：森林資源の循環利用と林業の成長産業化の両立

目標 2：持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業

目標 3：村上の魅力あふれる「もり」×「林業」×「ひと」づくり！

### < 取組の基本方針 >

- 1 ICT 技術等を活用した効率的かつ魅力ある林業の実践
- 2 村上市産材の利用促進
- 3 村上の山や木のことを世代を超えて伝えていく取組の実践
- 4 森づくりから家づくりまで、村上の未来を担う人づくり

なお、森林を保全するには、森林の多面的な機能を維持、増進していくため森林整備を実施していく必要があります。このため「令和元年度 森林整備と財源のあり方検討委員会 報告書」で示された「公的関与が必要な森林の対象範囲と判断基準の考え方」に基づき、公的関与が必要な森林については森林環境譲与税による森林整備等を進める必要があります。

林業振興施設等については、森林は環境教育の場、レクリエーションの場、憩いの場等として多様なニーズがあり、様々な分野から森林サービス産業の場として期待されています。多様な年代の人々に対して、森や木を活用した体験型プログラムの実施が期待されることです。また、市内には森林を利用できる公園として「道玄池いこいの森森林公園」、 「岩船夕日の森森林公園」及び「二子島森林公園」などがありますが、老朽化が進んでいる施設については随時補修を行い、木製玩具を配置するレクリエーション施設の整備も必要であると考えます。

## (4) 附帯意見

答申後も航空レーザ測量による森林情報の高度化を進めた場合には、改めて森づくりのゾーニング等を見直す必要があると考えます。